



給食だより 1月

令和4年1月11日
港区立青山中学校
校長 中田 和直

あけましておめでとうございます。早いもので、1年のまとめの3学期が始まりました。寒い日が続きますが、換気や手洗いをしっかりおこないましょう。給食では、ひき続き「前を向いて食事をする」「食事中はおしゃべりしない」を徹底し、感染予防に努めていきます。



苦手な物にも「トライ」しよう!



皆さんは、給食で苦手な食べ物が出たら、どうしますか？ まったく手を付けずに残している人もいるかもしれませんが、ひと口でいいので食べてみてください。初めは苦手でも、食べ慣れることでだんだんとおいしく感じるようになっていきます。また、味覚は成長とともに変わっていくもので、苦手だと思っていたものでも、食べてみたらおいしかったということもあります。小さいころから、さまざまな味の経験を積むことで、豊かな味覚が育ちます。今年は「寅年」、苦手な食べ物にもぜひ「トライ」してみてくださいね!!



1/24~1/30

「全国学校給食週間」

学校給食の昔と今

日本の学校給食の始まりは、明治22年までさかのぼります。山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)にある大督寺というお寺に開校された私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために、食事を提供したのが始まりとされています。その後、全国各地へと学校給食が広がっていききましたが、戦争の影響で中断されてしまいました。

戦争が終わり、子どもたちの栄養状況を改善するために、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)からの援助物資で、学校給食が再開されることになりました。そして昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とすることが定められました。

昭和25年度からは、冬休みと重ならない1月24日~30日の1週間を「**全国学校給食週間**」としました。学校給食の意義や役割について理解や関心を高めることなどを目的に、毎年、全国でさまざまな行事が行われています。

【昔】



【今】



“セレクト給食”をおこないました



健康委員会の生徒たちが調査を行い、12月23日(木)「A 抹茶パフェ」または、「B プリンアラモード」のどちらかを事前を選んで決めるデザート「セレクト給食」を行いました。

甘さを控えた抹茶味と生クリームの魅力を味わいました。

【結果】 A 抹茶パフェ 82票、 B プリンアラモード 89票

